



安積二小だより

創立 150 周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校
学校便り No. 6
令和 7 年 5 月 20 日
文責：校長 齋藤 和彦

創立 150 周年記念 大運動会！

～子ども達の力はすごい！～



150 年の歴史の中で..4 千人を超える多くの卒業生も力の限り駆け抜けてきた運動会。

今年の運動会も子ども達の精一杯の姿に魅せられて..大成功裏に幕を閉じました。

保護者の皆様の力強い応援やゴール後も続くあたたかな拍手あつての大成功です。

お日さまには、“ほどほどのお願い..”をしたのですが、お願い以上の好天に恵まれて、保護者の皆様の体調は、大丈夫でしたでしょうか。

この運動会には、準備練習の過程で数々の子ども達の成長の姿。その姿を意図して導いてきた全職員一丸（体育主任尽力）の力もまた『あっぱれ！』であったことも加えます。

- ・何と言っても、6 年生の本気の姿です！
 - ・代表児童の覚悟と責任感が..あの姿に！
 - ・指揮台上からあの声/あの口調/あの態度！
 - ・6 年生を手本に全校生が高まっていく姿！
 - ・6 年生の姿勢をまねて、指先までピンと！
 - ・係児童の責任ある動きに全幅の信頼を！
 - ・着順判定は審判児童判断を絶対に尊重！
 - ・臨場感あふれる放送実況アナウンスの熱！
 - ・笑顔いっぱい「おめでとう！」等賞シール！
 - ・入場門では..やさしい声かけ召集確認！
 - ・応援団の旗と一緒に下学年の懸命な声！
 - ・がんばる子に 6 年生多数が伴走..の光景！
- “ぼくも指揮台の上で、かっこよく代表になってみたい！” 6 年生の姿は、下級生に、こんな..あこがれを抱かせたに違いない。



この日..青い青い空のもとで歌った応援歌、全力で走った校庭の感触、会場四方から届くあたたかい拍手の音、暑い中ががんばりぬいて..水分補給タイムで飲む水筒のお茶の美味しかったこと～『運動会』の響きとともに記憶によみがえる..『がんばった自分』。

運動会を通して、子ども達がそれぞれに胸にした『自分だけの 1 等賞』が、これからの更なる成長の糧となることを願います。

夢と希望を乗せた七色の風船 150 個が、子どもたちの手を離れ、大空へ舞いました。



◆◆ 校長室から ◆◆

～みいちゃんの長靴事件～



先生になりたての頃、私の学級に“みいちゃん”がいました。みいちゃんは、人気者です。

ときに、私が本気で叱っているというのに..、みいちゃんが私の叱り真似をすると、教室が一瞬で笑顔に..そして、私も「もう、いいか..」となってしまう。～これには、まいった..（笑）

みいちゃんは、勉強に飽きると、教室の外にふらっと出て行ってしまいます。プリントを破いて、その音を楽しんでニコニコ。（皆も笑顔に）

みいちゃんのお母さんは、「ありがとうございます」と、私がお願いする特別なドリルを次々に買って持たせてくれました。なぞり書きやクルクル迷路に、次々に花丸をもらって喜んで家に帰ります。（1 日で 1 冊全部終えたときもありました）

ある時、市内の先生方が授業参観に来る研究会がありました。「短距離走（リレー）」でした。

いよいよ 5 校時目。続々と先生方が集まる校庭に、子ども達も私もやる気満々で整列完了。

みいちゃんの足元は..『長靴』です。（買ってもらったばかりのお気に入りのピンク色の..）

リレーチームは、皆の了解で決まっています。走る距離は、チーム内の作戦のひとつでした。

みいちゃんのチームも勝つチャンスは平等です。でも、さすがに..この時は、「ええ～、負ける！」（チームは意気消沈..）そのとき、男子の一人が、

『じゃあ、みいちゃんを俺たちのチームに入れる！』次に、女子が、『ダメ！みいちゃんはやらない！』授業前に、まさかのみいちゃん取り合い勃発。

結局、みいちゃんはあるチームに収まって、チーム練習を経て..いよいよリレー勝負。

練習では脱げなかったのに、みいちゃんの長靴はバトンを受けてすぐに脱げてしまいました。

みんなが慌てるのを見て、みいちゃんは別な方向へ走っていきます。懸命にみいちゃんを走路にもどす男子たち。脱げた長靴を拾って、みいちゃんに履かせる女子たち..なんとか次の走者にバトンを渡すまでの大ハプニング。

今日の MVP 選出は、『みいちゃん！』でした。理由は、『みいちゃん最高！』（皆納得の笑顔で）

たくさんの先生方がいたことなんて忘れて..、私は、鼻水をすすって涙を拭いていました。

私は、この子ども達から大切なことを教えられました。みいちゃんがいてくれたおかげです。

※ ～みいちゃんの長靴事件～

このお話は、先日、創立 150 周年運動会が開催された..あの校庭のできごとです。安積二小の長い歴史の中には、きっと..卒業生のこんな記憶..あんな思い出が、もっともっとあることでしょうね。

